

高知特別支援学校北東舎トイレ改修電気設備工事

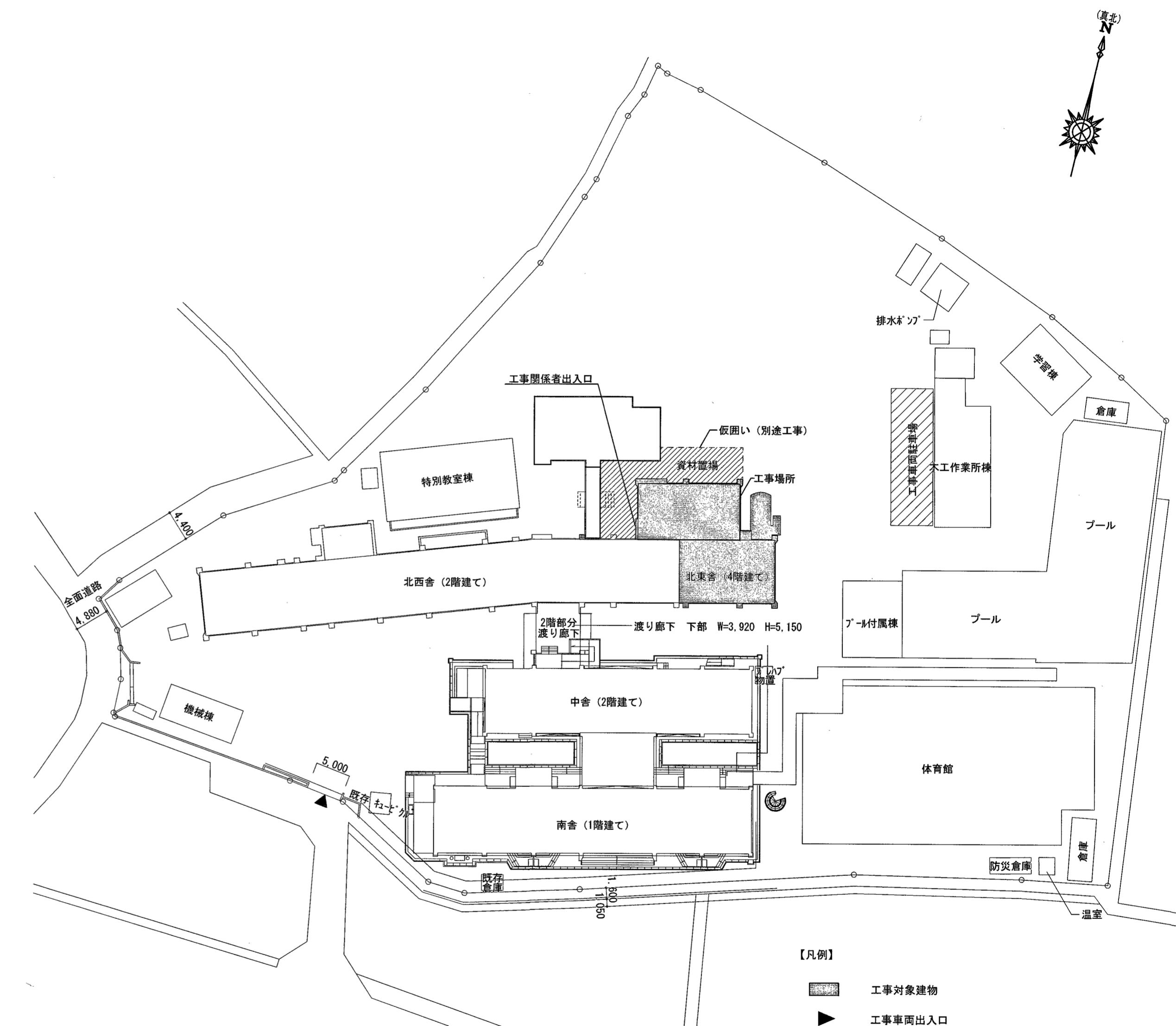
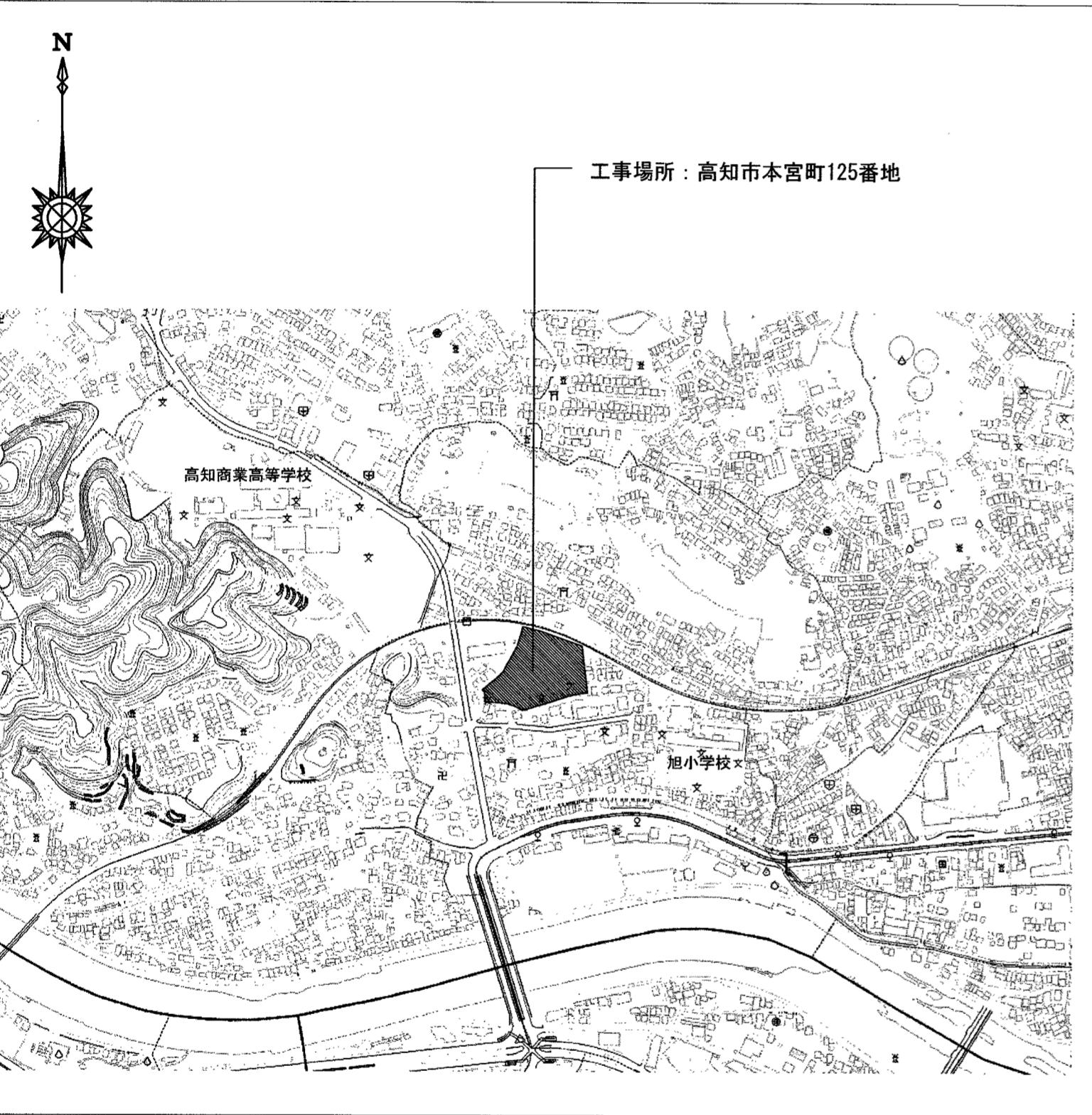
図面番号	図面名称
E-O 1	特記仕様書(1)
E-O 2	特記仕様書(2)
E-O 3	付近見取図・配置図兼仮設計画図
E-O 4	凡例・1階平面図(改修前・改修後)
E-O 5	2階平面図(改修前・改修後)
E-O 6	3階平面図(改修前・改修後)

高知市特別支援学校北東舎トイレ改修電気設備工事 特記仕様書							項目	特記事項			項目	特記事項		
Ⅰ 工事概要	高知市本宮町125番地													
1. 工事場所	高知市本宮町125番地													
2. 建物概要														
建物名称	構造	階数	建築基準法に基づく延べ面積	消防法施行令別表第一	都市計画法に基づく用途地域	備考								
北東舎	RC造	4階	966.20m ²											
3. 工事種目	北東舎													
1 電灯設備	一式	3 撤去工事	一式											
2 弱電設備	一式	4 発生材処理	一式											
4. 関連工事等	○ 建築工事	● 電気設備工事	○ 衛生設備工事	● 空調設備工事	● 植栽工事	● 外構工事	● 解体工事							
5. 標成工期	○ 完成期限の()日前	(令和 年 月 日)												
6. 部分使用 (工事請負契約書第34条第1項)														
Ⅱ 設備工事仕様														
1. 特記仕様														
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。														
2) 特記事項は、○印の付いた場合は、※印の付いたものを適用する。○印と○印の付いた場合は、共に適用する。														
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。														
4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。														
5) 特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。														
2. 通用基準等														
前面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁營繕部監修の以下による。														
※ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版														
※ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版														
※ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和4年版														
※ 建築物解体工事共通仕様書 令和4年版														
給排水工事については、高知市上下水道局発行の「給水装置工事施工要領」による。														
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について														
・対象 (- 発注者指定型 ○ 受注者希望型)														
工事者は、工事着手日から工事完成までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする														
「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」実施要領(当様工事編)による。														
(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukuhutsuka.html)														
・対象外 (理由:)														
項目	特記事項													
一般共通事項	特記事項													
① 官公署その他への手続き														
工事の着手・施工・完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。														
手続き等の費用は受注者の負担とするが、以下の費用については発注者が負担する。														
・給水装置新設分担金														
手続等の費用は関係法令により適切に処理し、建物管理者に引き渡す。														
2 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)														
登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建築実績情報のコリンズ・テクリス登録等に関する規約」による。														
(1.1.4) [1.1.4]														
③ 書類の書式等														
工事の着手に当たり、監督職員立会の下で設計図書等の照査及び施工監理資料作成の打合せを行い記録を整備する。														
施工監理資料の内容及び水準は、監督職員が示す「施工監理資料一覧」による。														
(1.1.5) [1.1.5]														
④ 総合工程表														
原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。														
(1.2.1) [1.2.1]														
5 総合図														
工事の施工に先立ち別途契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。														
(1.2.3) [1.2.3]														
⑥ 施工図等の取扱い														
施工図等の内、監督職員の承諾を要するものについては、施工監理資料作成の打合せ時に協議する。														
施工図等の著作権に關わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。														
(1.2.3) [1.2.3]														
⑦ 工事日誌														
週ごとに工事の全般的な経過及び次回の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。														
また、半月ごとに出来高を当月初替とし、月末には実施工表を添付する。														
電子印鑑の使用及び電子メールによる提出も可とする。														
⑧ 工事写真														
工事写真はし版とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙)														
撮影方法は、国土交通大臣官房官庁營繕監修「工事写真撮影要領(令和5年版)・同解説工事写真の撮り方・建築編」による。														
デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。														
なお、実施については、国建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による。														
⑨ 下請負者の報告														
各下請負者については、下請負契約前に「下請施工予定報告書」にて監督職員に報告する。														
⑩ 電気保安技術者														
適用する														
(1.3.2) [1.3.2]														
⑪ 施工条件														
施工日及び施工時間														
※ (1.3.3), [1.3.3] (1) (7)による。														
工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所														
※ 仮囲内 ○ 図示														
その他の施工条件														
○ 資機材の搬出工事には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車も含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけて、公道まで徐行する。														
○ 登下校時間や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。														
○ E-03 付近見取図・配置図兼仮設計画図参照														
工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。														
保険期間は、工事着手のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。														
※ 金銭の保証方式														
・ 有 ○ 無														
15 交通誘導警備員														

項目	特記事項	項目	特記事項	機器取付高			
電気設備特記仕様		20 非常用照明の照度測定	各部屋2箇所以上を測定し、避難動線を考慮した位置とする。	接地用端子箱 雷保護接地端子箱 接地極埋設標 室内端子盤（廊下、室内） 中間端子盤（E.P.S.、電気室） 親時計 子時計、スピーカ アッテナータ インターホン 外部受付用インターホン子機 呼出ボタン（パリアフリートイレ） 復帰ボタン（パリアフリートイレ） 廊下表示灯（パリアフリートイレ） テレビ機器収容箱 火報受信機（複合盤） 副受信機 火報総合盤 ガス漏れ検知器（L.P.ガス） ガス漏れ検知器（都市ガス） 備考			
① 機材	メーカーリストによる。	21 一般照明の照度測定等	照度全数において、センサの動作及び機能の確認を含む照度測定を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ※照度測定 (100%点灯時 (※夜間・昼間))・星光率 (調光制御点灯時 (※夜間・昼間)) ※照度測定基準：JIS C 7612に準じて行うこと。	地上、床下～中心 500 床上～下端 800 地上～中心 600 床上～下端 300 床上～中心 1,500 床上～中心 1,500 (上端1,900以下) 床上～中心 (天井高) × 0.9 ※2 床上～中心 1,300 床上～中心 1,300 床上～中心 ※1 床上～中心 1,800 床上～中心 2,000 床上～中心 1,800 床上～操作部 800～1,500 床上～中心 1,500 床上～中心 800～1,500 床上～中心 300 天井面～中心 (天井面) -200			
② 他工事との取り合い	はり貫通部のスリーブ ※本工事・別途工事 補強 ※本工事・別途工事	22 受変電設備	・電力ヒューズ（現用の定格値）を予備用に同数量納入し、電気室等に保管する。 ※SOG制御装置の外箱は原則としてステンレス製とする。 ※変圧器に防振ゴムを取り付ける場合は、地震による変位を抑制するための機能を要する。				
	自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアーハンジ ・本工事・別途工事	23 テレビ共同受信設備	分歧器、分配器、直列ユニットはC.S.・B.S.・U.H.F.共用形（デジタル放送対応品）とする。 電界強度の測定 ・要・不要 (a)受信レベル (b)ビット誤り率(BER) (c)歪調誤差比(MER) (d)受信画質 ※測定内容に関しては、監督職員と協議すること。 埋設深さ ・一般敷地 600mm以上 ・舗装道路 600mm以上 ・公道 800mm以上 地中管路には、管下50mm、管上100mm程度保護砂を入れる。				
	天井埋込型器具の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・本工事※別途工事 ただし、ダウントライ等、切込み寸法が 小さい場合は除く	24 構内埋設線路					
	天井点検口の取付箇所の下地材の切込み及び補強 ・本工事※別途工事（墨出しは本工事）	25 ハンドホール	水抜き穴は現場の水位を確認の上、要否を検討すること。				
	軽量鉄骨壁のボックス取付用の下地材の切込み及び補強 ※本工事・別途工事	26 耐震施工	設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」及び建設大臣官房官庁常総部監修の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説（平成8年版）」による。 局部震度法による設計用標準震度は、構造体の耐震安全性の分類、設備機器の重要度及び設置階により、選定する。 なお、施工に先立ち、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承認を受けるものとする。 備考 100kg以上の機器に適用するが、それ以下の機器については監督職員と協議する。 地域係数は1.0とし、設計用鉛直地震力を設計水平地震力の1/2とする。				
	埋込型分電盤、端子盤等の板枠 ※本工事・別途工事 補強 ・本工事・別途工事	27 ハンドホール	施設の分類 ・特定の施設 ○一般の施設 重要機器 ・受変電設備 ・自家発電設備 ・蓄電池設備 ・無停電電源装置 ・幹線用分電盤 ・その他 ()				
③ 電線類	照明器具、幹線等の吊ボルト用インサート ※本工事・別途工事	28 高圧交流遮断器	局部震度法による建築設備機器（水槽を除く）の設計用標準水平震度				
	屋内の電気室、自家発電室などの基礎、防油堤、ピット（ふたを含む） ・本工事・別途工事	29 配線用遮断器	耐震安全性の分類				
	屋外の受変電設備基礎 ※本工事・別途工事	30 漏電遮断器	設置場所				
	動力機器（電動機など）への接続 ※本工事・別途工事	31 高圧限流ヒューズ	特定期の施設				
	電話保安器用接地 ※本工事・別途工事	32 高圧負荷開閉器	一般的の施設				
	EMケーブルとする。EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとする。 耐火ケーブル（F.P.）及び耐熱ケーブル（H.P.）はシースに耐燃性ポリエチレンを用いたものとする。	33 電磁開閉器	重要機器				
④ 電線管	屋外露出配管 鋼管を使用する場合 ※溶融亜鉛めっき ・プライマ処理後指定色塗装（2回塗り） ビニール電線管を使用する場合 ※カラー管を使用する P.F管は単層管（タイプ25）とする。	34 電線器具類	一般機器				
⑤ 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆線を挿入する。	35 非常用照明器具	重要機器				
⑥ フラッシュプレート材質	・樹脂製 ○新金属 ・ステンレス	36 課導灯器具	一般機器				
⑦ カバープレート	用途別表示としてシール等を貼付する。	37 照明器具	重要機器				
8 接地極	※下記による。なお接地棒EBの長さは1,500mmとする。	38 高圧交流遮断器	一般機器				
	接地の種類 記号 接地抵抗値 接地極	39 配線用遮断器	重要機器				
	共同接地 E.A.E.D 10Ω以下 EB(14φ)×3連-2組	40 漏電遮断器	一般機器				
	A種 E.A 10Ω以下 EB(14φ)×3連-2組	41 高圧限流ヒューズ	重要機器				
	B種 E.B 200Ω以下 EB(14φ)×3連-2組	42 高圧負荷開閉器	一般機器				
	C種 E.C 10Ω以下 EB(14φ)×3連-2組	43 電磁開閉器	重要機器				
	D種 E.D 100Ω以下 EB(10φ)×1	44 電線器具類	一般機器				
	雷保護 E.L 10Ω以下 EP×1	45 非常用照明器具	重要機器				
	高圧避雷器 E.L.H 10Ω以下 EB(14φ)×3連-2組	46 課導灯器具	一般機器				
	・面図特記による。	47 照明器具	重要機器				
9 埋設表示	雷保護設備用及び共同接地極の表示 ・黄銅板製 ・ステンレス製 上記以外の接地極及び地中配線の表示 800×300のコンクリート杭又は、プラスチック杭に方向種別を彫り込んだもの。ただし、舗装された場所は鉄棒ピンとする。 地中配線には電圧、線路長に關係なく標識シート（ダブル）を管頂と地表面の中間に設ける。	48 高圧用変圧器	一般機器				
10 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定の上、取付のこと。	49 整流装置	重要機器				
11 絶縁抵抗等の測定	工事着手前に既存の電気設備の絶縁抵抗等を測定し、測定表を監督職員に提出する。	50 整流装置	一般機器				
12 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならう補修する。 ただし、監督職員の指示により変更することがある。	51 認定品目等	重要機器				
13 屋上・屋側の支持金物	原則としてステンレス製とする。（装柱金物は除く）	52 交流無停電電源装置	一般機器				
14 結露防止	内側断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。	53 容量200kVA以下蓄電池を除く	重要機器				
15 はつり	既存のコンクリート床・壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターを用いる。	54 一般放送装置（消防用以外）	一般機器				
16 あと施工アンカー	あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカーエクスの施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。	55 電気時計	重要機器				
17 配線器具	タンブ拉斯イッチは大角型通用形（ネーム入）とする。 壁付コンセントは原則として大角型通用形とし、通用形以外はプラグ付とする。 単相200V、発電機回路等のコンセントは、プレートに電圧・電源等の表示を行う。 呼出ボタンは点字タイプとする。	56 自動閉鎖装置	一般機器				
18 照明器具等の接地	接地線は原則としてIE1.6m以上（緑色）とする。また、ケーブルの一芯を使用する場合は、緑色の芯線とする。	57 非常放送装置	重要機器				
19 照明器具用位置ボックス	ケーブル配線の位置ボックスは原則としてアウトレットボックスとする。 ケーブル配線で照明器具が送り端子付のもの（定格電流15A以上）及び配線が末端となるものは位置ボックスを設けなくてよい。	58 非常警報装置（非常ベル）	一般機器				
		59 火災報知装置	重要機器				
		60 テレビ共聴機器	一般機器				
		61 避雷針	重要機器				
		62 インターホン・ナースコール	一般機器				
		63 電話交換装置	重要機器				
		64 ホーム分電盤	一般機器				
		65 監視装置	重要機器				
		66 舞台照明装置	一般機器				
		67 音響・映像装置	重要機器				
		68 中央監視制御装置	一般機器				
		69 升降機設備	重要機器				
		70 太陽光発電システム	一般機器				
		※ メーカーリスト以外の機器でも監督職員が同等品以上と認めた場合、若しくは評価名簿に記載されたものについてこれによらない。					
		打合せ事項					
		官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日			
		打合せ事項					
		官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日			
		打合せ事項					
		官公庁等名	打合せ日時	令和 年 月 日			
		打合せ事項					
		工事名	係	係長	課長捕佐	課長	因面番号
		高知特別支援学校北東舍トイレ改修電気設備工事	（印）	（印）	（印）	（印）	E-02
		因面名 特記仕様書（2）	更新日	2024.04.01	作図	年 月 日	

工事概要

- 既存トイレ(北東舎)乾式化に伴う電気設備工事



付近見取図

施工条件

- 現場着手は令和7年7月19日からとする。
- 撤去作業は令和7年8月31日までとする。
- 登校時間帯 午前8時から午前9時までは工事車両の出入りを禁止する。
- 下校時間帯 水曜日以外 午後3時から午後3時30分までは工事車両の出入りを禁止する。
- 下校時間帯 水曜日 午後1時50分から午後2時20分までは工事車両の出入りを禁止する。
- 施設を利用しながらの工事となるため、日常的な清掃を行い、作業時間・作業内容・騒音及び振動を伴う作業については施設管理者と協議の上、作業時間等に配慮する事。
- 資材搬出入には、ホール①を利用することができる。
- 校舎内通路を通行する場合は安全に配慮し、工事範囲外の清掃に努め、学校利用を優先すること。

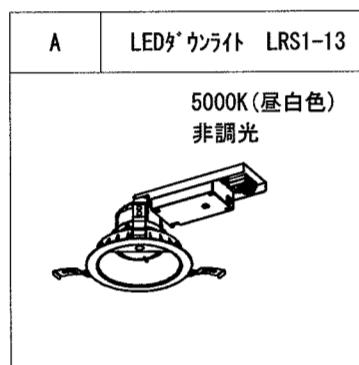
配置図兼仮設計画図 S=1:500

設計	・	記	有限会社 進設備設計事務所 代表取締役 秋元 進哉 高知市北金田17-22 北金田ベース1階E TEL (088) 879-4265	所長	検査	担当	工事名	図面名称	縮尺	高知市	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
訂正	・	・					高知特別支援学校北東舎トイレ改修電気設備工事	付近見取図・配置図兼仮設計画図	一	都市建設部	○	○	○	○	E-03
	・	事								公共建築課	○	○	○	○	

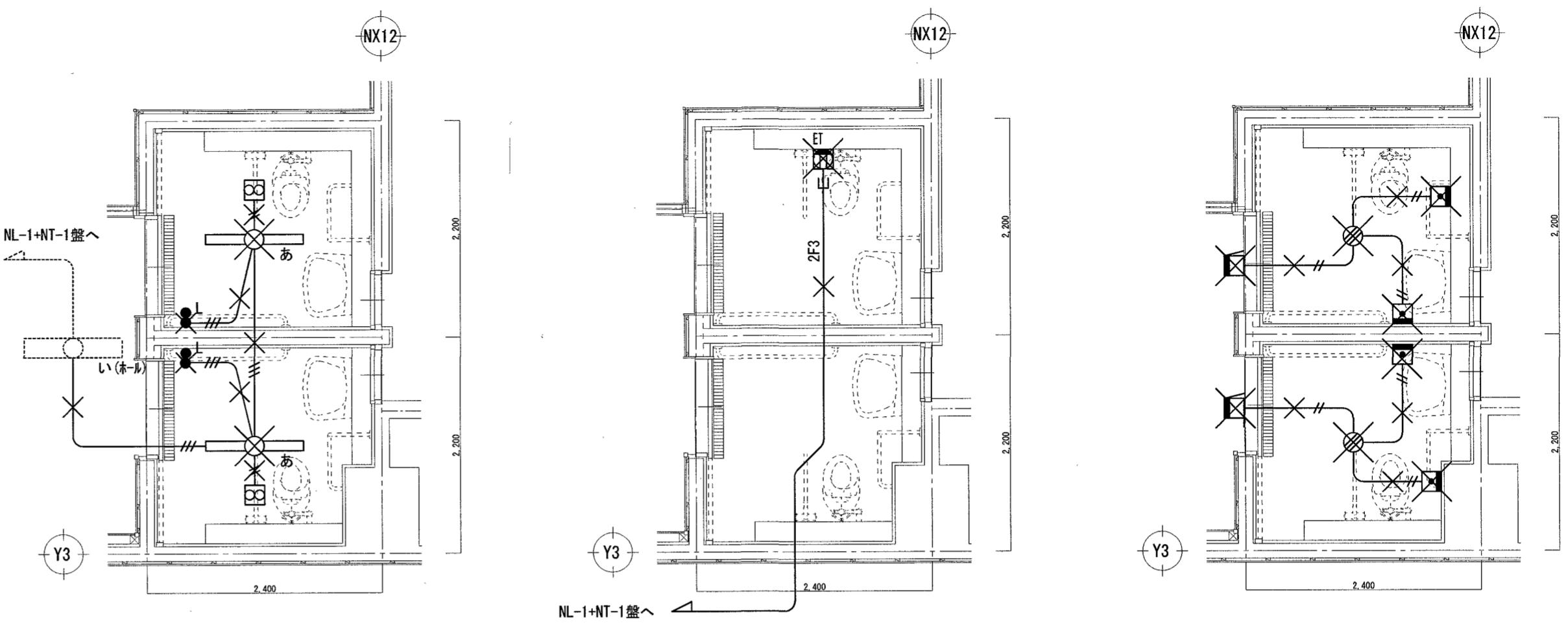
凡例(改修前)	
8 L	埋込スイッチ 1P15A×1 + 1P4A(PL付) ×1 新金プレート共
□	換気扇(本体取外: 別途工事, 電源離線: 本工事)
① ET	埋込コンセント 2P15A×1 ET付 新金プレート共
② ET	埋込コンセント 2P15A×1 ET付 メタル用露出ボックス1個用付 新金プレート共
□	呼出表示装置 呼出ボタン
□	呼出表示装置 ブザー
—	IV 1.6×2(PF16)
—	IV 1.6×3(PF16)
— 2.0	VVF 2.0-3C 天井コロナ
— 2F3	EM-EFF 2.0-3C 天井コロナ
— (MMA)	メタル-A型で保護 天井立上げ部メタル-A型用コナボックス共

既存照明器具リスト		
記号	仕様	取付方法
あ	HF32W×1	直付
い	FL40W×2	埋込
う	FL40W×2	直付

新設照明器具参考姿図



凡例(改修後)	
◎	LEDダブルライト
▽ F	熱線自動スイッチ用センサー(天井付) 親機 照明換気扇連動
● 2RA	操作ユニット2回路 メタル用露出ボックス1個用付 新金プレート共
□	換気扇(本体取付: 別途工事, 電源接続: 本工事)
① EET	埋込コンセント 2P15A×1 EET付 新金プレート共
② EET	埋込コンセント 2P15A×2 EET付 新金プレート共
■ EET	埋込コンセント 2P15A×1 EET付 メタル用露出ボックス1個用付 新金プレート共
□	メタル用露出ボックス1個用
○	アットレットボックス 102口×54
□	呼出表示装置 呼出ボタン(点字付) メタル用露出ボックス1個用付
□ 2	呼出表示装置 ブザー及び復旧ボタン付呼出表示器 埋込形2窓用 メタル用露出ボックス3個用付
□	天井点検口 450口(別途工事で設置)
□	天井点検口 450口(本工事で設置)
F2	EM-EFF 1.6-2C 天井コロナ
—	EM-EFF 1.6-3C 天井コロナ
F6	EM-EFF 1.6-3C×2 天井コロナ
2F3	EM-EFF 2.0-3C 天井コロナ
— AE	EM-AE 0.9-2C 天井コロナ
— AE	EM-AE 0.9-2C×2 天井コロナ
— (MMA)	メタル-A型で保護 天井立上げ部・面台立上げ部メタル-A型用コナボックス共
— (MMB)	メタル-B型で保護 天井立上げ部・面台立上げ部メタル-B型用コナボックス共
— C	空配管PF管(16)(ただし露出箇所はメタル-A型 天井立上げ部・面台立上げ部メタル-A型用コナボックス共)
-----	既設



1階トイレ電灯設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

1階トイレコンセント設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

1階トイレ弱電設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。
また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

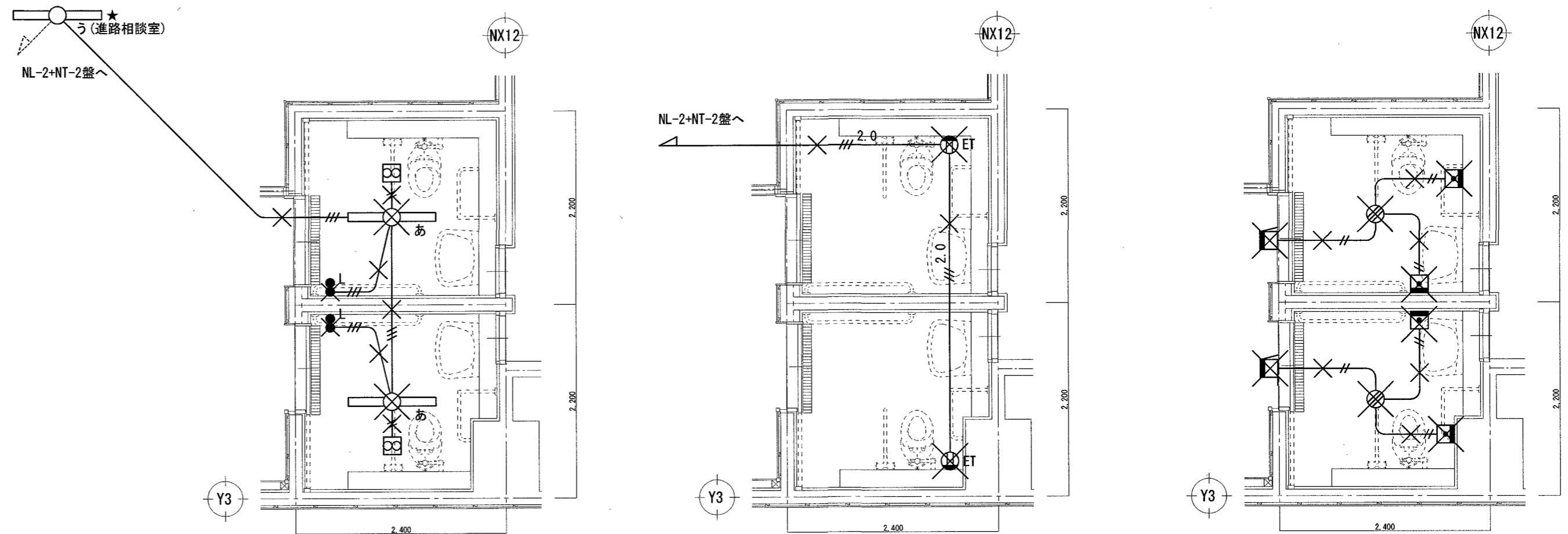
また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

NL-1+NT-1盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)にEM-EFF 2.0-3Cを接続する。

また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源は既存「トイレコンセント」回路(MCCB 2P2E20A)とする。

更に、当該コンセントにブザー及び復旧ボタン付呼出表示器の電源がアースにEM-AE 0.9-2Cを接続する。



2階トイレ電灯設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

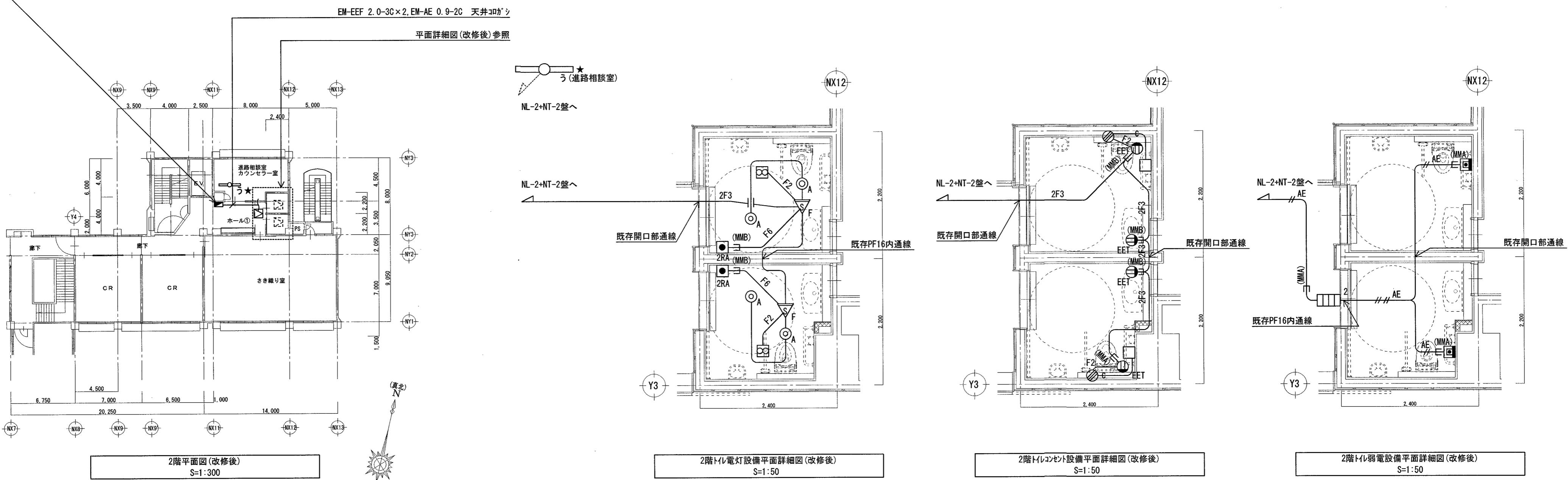
2階トイレコンセント設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

2階トイレ弱電設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

NL-2+NT-2盤(既存)の予備回路(MCCB 2P2E20A)2個にそれぞれEM-EEF 2.0-3Cを接続する。
また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源はコンセント回路となるEM-EEF 2.0-3Cを接続した回路とする。
更に、当該コンセントにアダプター及び復旧ボタン付呼出表示器の電源アダプターを接続し、当該電源アダプターにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

EM-EEF 2.0-3C×2, EM-AE 0.9-2C 天井コガシ

平面詳細図(改修後)参照



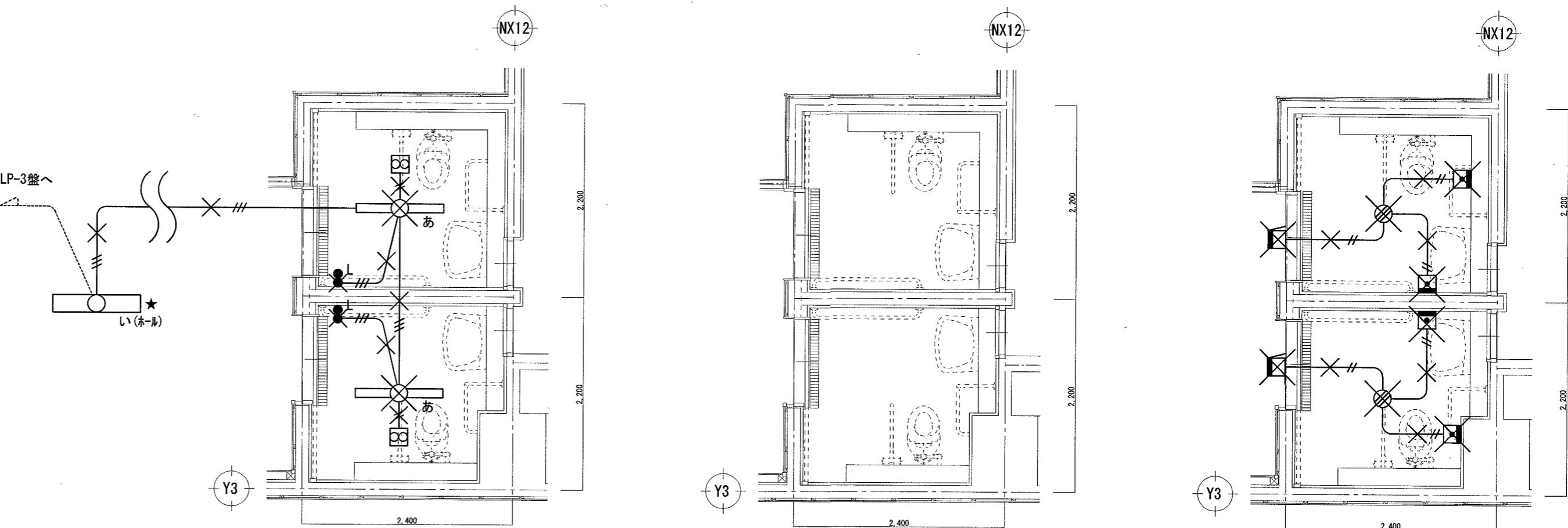
2階平面図(改修後)
S=1:300

2階トイレ電灯設備平面詳細図(改修後)
S=1:50

2階トイレコンセント設備平面詳細図(改修後)
S=1:50

2階トイレ弱電設備平面詳細図(改修後)
S=1:50

設計	・	・	記 事	有限会社 進設備設計事務所	所長	検收	担当	工事名	図面名称	縮尺	高知市 都市建設部 公共建築課	係 長	係 長	課長補佐	課 長	図面番号
訂正	・	・		代表取締役 秋元 進哉 高知市北金田17-22 北金田ハイツ1階E TEL (088) 879-4265				高知特別支援学校北東舎トイレ改修電気設備工事	2階平面図(改修前・改修後)	1/300 1/50					E-05	
	・	・										松木	中村	松木		



3階トイレ電灯設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

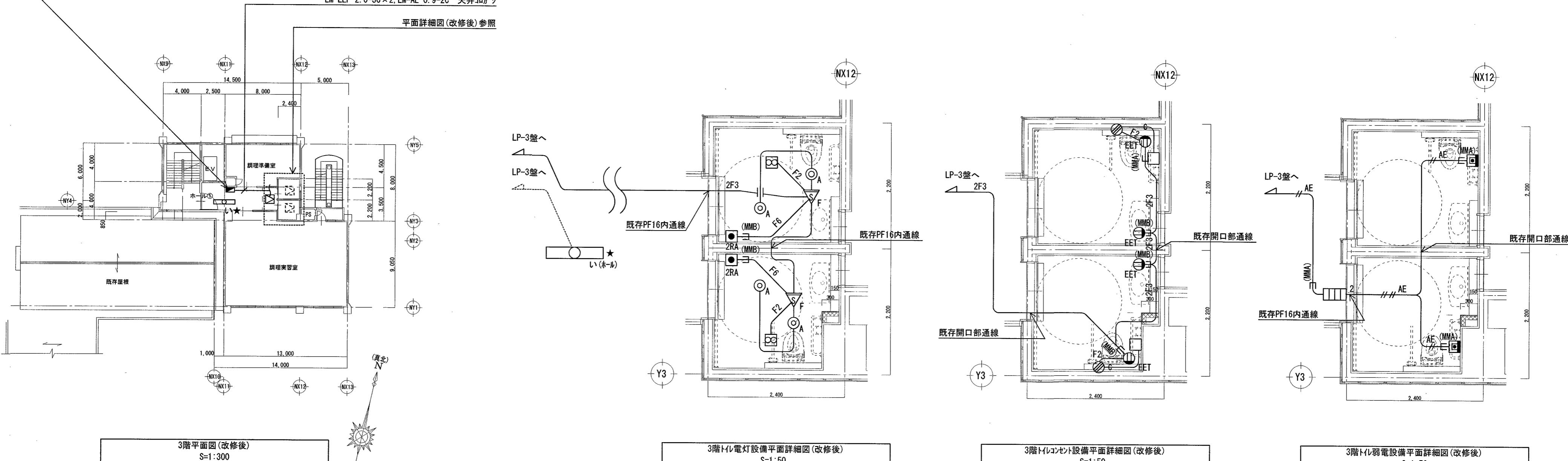
3階トイレコンセント設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

3階トイレ弱電設備平面詳細図(改修前)
S=1:50

LP-3盤(既存)にMCCB(2P50AF20AT(1Pサイズ))を2個増設し、それぞれにEM-EF 2.0-3Cを接続する。
また、盤内に露出コンセントを増設し、その電源はコンセント回路となるEM-EF 2.0-3Cを接続した回路とする。
更に、当該コンセントニアサーカス及び復旧ボタン付呼出表示器の電源アダプタを接続し、当該電源アダプタにEM-AE 0.9-2Cを接続する。

EM-EF 2.0-3C×2, EM-AE 0.9-2C 天井コガシ

平面詳細図(改修後)参照



3階平面図(改修後)
S=1:300

3階トイレ電灯設備平面詳細図(改修後)
S=1:50

3階トイレコンセント設備平面詳細図(改修後)
S=1:50

3階トイレ弱電設備平面詳細図(改修後)
S=1:50

設計	記	有限会社 進設備設計事務所 代表取締役 秋元 進哉 高知市北金田17-22 北金田1-ス1階E TEL (088) 879-4265	所長	検査	担当	工事名	図面名稱	縮尺	高知市	係	係長	課長補佐	課長	図面番号
訂正	記					高知特別支援学校北東舎トイレ改修電気設備工事	3階平面図(改修前・改修後)	1/300	高知市 都市建設部 公共建築課					
事	記							1/50		(方)	(村)		(松木)	E-O 6